



# わだいすぎ

第34号 平成24年7月12日発行

発行者：NPO法人和田地域づくり協議会『WAO!』

連絡先：住所 南房総市和田町仁我浦206 和田地域センター内

電話 0470-47-3427

## 花いっぱい活動

和田中学校では、今年度も「花いっぱい活動」に取り組んでいます。この活動は、旧和田町時代の平成12・13・14年の、文部省指定による町内の小・中・高校の連携教育の在り方についての研究開発から始まっています。自分たちのふるさとの良さを見直し、自然や郷土を愛する心を育てること、地域の人々とふれあう機会にすることなどを目的に、花の苗を配り始めました。

この苗の育苗には、始まった当時から安房拓心高校の協力を得ています。今年も5月中旬に土の作り方や種のまき方などの指導を受け、活動が始まりました。

そして6月11日（月）に、全校生徒112名が町内の16区に分かれ、一人暮らしの高齢者宅へマリーゴールドとサルビアの苗を持って訪問しプレゼントしました。訪問する前の出発式では、笹子花いっぱい部長から「和田中にとって大切な活動（行事）であり、また、お年寄りも楽しみに待っている活動です」と挨拶がありました。小柴校長からは「花と一緒に真心とさわやかな笑顔をお届けしたい」と挨拶がありました。その後、各地区へ出発しました。

3年生の北見舞花さんに同行しました。訪ねた先は松田区の庄司さん宅です。庄司さんは小さい時から北見さんのことを知っているのので、「久しぶりに見たが、大きくなったね。苗をしっかりと育てるよ」と声をかけていました。

さらに6月25日（月）には、和田町内にある福祉施設や地域センター、駐在所や消防分遣所などにプランターを配布しました。地域センターでは「立派な苗をいただいたので、水の管理をしっかりしなくては」と、話していました。



6月11日の出発式の様子



安房拓心高生と種まき



庄司さん宅へ訪問



美しい里へ贈る

## 安房拓心高生が苗を販売

和田中学校で花の苗の育苗を指導しているのが、安房拓心高校生です。その高校生たちが育てたマリーゴールドとペチュニアの苗を、和田町内で販売しました。

苗の生産と販売を行うことにより、消費者の声を直接聞け、それを次の生産に結びつけるなどのメリットがあり、今回の販売となっています。切り花も同様に販売していきます。

この生徒達が、安房地方の花栽培に関する伝統を守り、さらに発展させていくことを期待したいと思います。



地域で苗の販売

# 初 漁 祭

台風の影響で今年度の初漁祭は7月4日でした。例年よりだいぶ遅れての初漁祭で、自然が相手ではしかたがありません。

この日は前日に銚子沖で捕れたツチクジラを、朝7時から解体しました。水産庁の職員が巻き尺で長さを測ったり雌雄の判別をしたりした後、始まりました。今年度も南三原小と和田小の5年生25名が見学に来て、「大きいな」「皮をはがす音がすごいね」などと、感想を述べていました。

見学後は漁民館で鯨カツを食しました。

食した後は、鯨に関する総合的な学習の時間です。質疑の時間も設けられ、外房捕鯨の庄司社長に「解体に使う道具にはどんなものがあるのか」などと質問をしていました。この学習をとおして、鯨に関する文化と伝統が次の世代に引き継がれることを期待します。



解体前に大きさなどの調査

## 逃 辛 美 佳 ・ 預 かり の 訓 練



第3次避難場所へ移動

6月29日(金)に南房総市内の全小中学校で避難・預かり訓練がありました。県東方沖を震源とする震度6強の地震が発生し、大津波警報が発令されたとの想定のもと、各校とも訓練を行いました。

和田小学校でも訓練が行われ、机の下への第1次避難、校庭への第2次避難、そして第3次避難として幼稚園裏の山まで逃げました。急な坂道を、幼稚園児18名と小学生児童76名が、黙々と逃げました。前は約12分かかったのですが、今回は「WAO!」の安心・安全部会が避難路を整備したこともあり、約10分で第3次避難場所

まで行くことができました。

引き続き、家族の方が迎えにくるまで子どもたちを学校で預かる訓練が行われました。実際に起きた時は交通機関のマヒなど相当な混乱が予想されますので、子どもたちは家族の方が迎えにくるまで学校で預かるとのことです。



## 各 部 会 の 活 動 と 今 後 の 予 定

### 1. 安心・安全部会

- ・昨年より取り組んでいた、和田小の避難路の整備が6月末で一段落した。
- ・この後は、他地区で懸案とされている安全に関する環境整備や避難路の整備と、地域防災に関する講演会の準備に取り組んでいく。

### 2. にぎわい部会

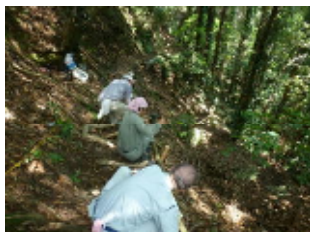
- ・9月2日に観光協会が行う「月見の会」へ、「WAO!」として参加する。にぎわい部会がその中心となるので、そのための資料収集とブースづくりに取り組んでいく。

### 3. 生きがい部会

- ・9月から行う予定のグラウンドゴルフ練習会の準備と、11月に行う予定の「歩け歩け大会」のコース選定(文化財見学を中心に)に取り組んでいく。

### 4. サーフィンプロジェクト

- ・白渚海岸の清掃とサーフ橋付近の公有地にスイセンの球根を植栽した。
- ・7月22日(日)に第3回和田浦サマーフェスティバルが行われる。サーフィンプロジェクトのメンバーが親子向けのイベントを開催するので、多くの皆様の参加をお待ちしています。



山中の避難路整備



将来のにぎわいの中心地



グラウンドゴルフの取材



スイセンの植栽

